



2024年7月12日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ
代 表 者 名 代表取締役社長 滝澤 貴志
(コード 4398 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部経営企画部長 高田 宜史
(TEL 03-5338-7430)

「NIST Cybersecurity Framework 2.0 対応アセスメントサービス」 の提供を開始

～最新のサイバーセキュリティ世界標準を適用することで進化する脅威に立ち向かう～

情報セキュリティコンサルティングなどセキュリティに特化したサービスを提供する株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝澤 貴志、以下 BBSec）は、米国国立標準技術研究所 The National Institute of Standards and Technology (NIST)が発表したサイバーセキュリティリスクに対応するためのフレームワーク NIST Cybersecurity Framework（通称 NIST CSF）※の最新バージョンである 2.0 版に対応した各種コンサルティングサービスの提供を開始することをお知らせします。

※NIST（米国国立標準技術研究所）のサイバーセキュリティリスクに対応するための包括的なガイドライン。
<https://www.nist.gov/cyberframework>

【背景】

近年、サイバー攻撃の手法はますます高度化し、多様化しています。ランサムウェア、サプライチェーン攻撃、そして生成 AI の急速な普及に伴う新たなサイバーリスクの出現など、企業や組織が直面する脅威は日々増加し、その被害は多大なものとなっています。このような状況下で、より強固で包括的なサイバーセキュリティ対策が求められています。

【NIST CSF2.0 の優位性】

NIST CSF2.0 は、既存の NIST CSF1.1 のアップデート版として、サイバーセキュリティのガバナンス、プライバシー保護、サプライチェーン管理に関する対策項目が強化されるなど、リスク管理の枠組みを一層充実させたものです。NIST CSF2.0 は、米国のみならず、世界中のあらゆる業界で活用が進むと予想される、今、最も注目されるサイバーセキュリティにおける世界標準です。

【概要】

以下のサービスについて NIST CSF2.0 に完全対応するためのバージョンアップを行い順次提供を開始します。

- ・ **情報セキュリティリスクアセスメントサービス**

経験豊富なコンサルタントが文書確認、インタビュー、実機の設定確認などにより現状を把握、調査結果を評価/分析、報告書にまとめ、課題/対策一覧とあわせて提示します。さらに、お客様の状況を踏まえた対策ロードマップ案を策定します。

- ・ **情報セキュリティ対策実行支援型サービス BBSec Prime**

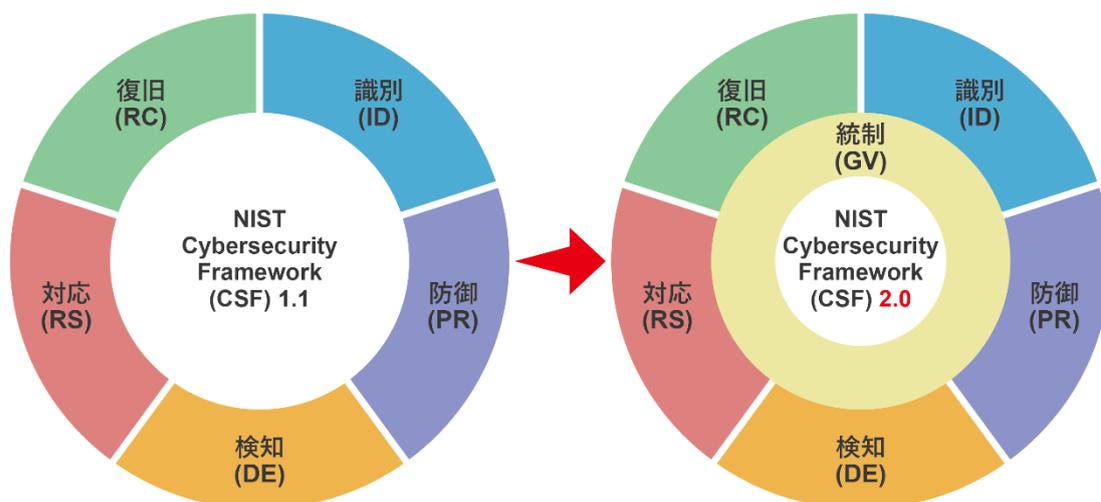
コンサルタントによるアセスメント、対策ロードマップ提示後、お客様と実行プランを策定し、年間を通じた対策実行に関するアドバイスを提供します。

- ・ **情報セキュリティセルフアセスメントサービス**

セキュリティ対策の現状を短時間で把握するためのセルフアセスメントツールです。WEB の設問に回答いただいた結果に基づき評価レポートを作成します。評価レポートには、現状分析に加え、課題と今後とるべき実践的な対策アドバイスが含まれます。

- ・ **情報セキュリティセルフアセスメントサービス（簡易コンサル付き）**

情報セキュリティセルフアセスメントサービスに簡易コンサルティングを付加したサービスです。セルフアセスメント回答結果を踏まえ、コンサルタントが、追加ヒアリングを行った上で課題/対策一覧、対策ロードマップ案を作成します。



CSF 2.0 Core Function and Category names and identifiers

(CSF 2.0 概要とカテゴリ識別子)

機能	概要とカテゴリ (カッコ内はサブカテゴリの数)	
統制 GOVERN (GV)	組織のサイバーセキュリティリスクマネジメントの戦略、期待、ポリシーが策定され、周知され、監視されている	
	GV.OC	組織の状況 (5)
	GV.RM	リスクマネジメント戦略 (7)
	GV.RR	役割、責任、権限 (4)
	GV.PO	ポリシー (2)
	GV.OV	監督 (3)
	GV.SC	サイバーセキュリティ・サプライチェーンリスクマネジメント (10)
識別 IDENTIFY (ID)	組織の現在のサイバーセキュリティリスクが把握されている	
	ID.AM	資産管理 (7)
	ID.RA	リスク評価 (10)
防御 PROTECT (PR)	組織のサイバーセキュリティリスクを管理するために、予防策が立てられている	
	PR.AA	ID 管理、認証、アクセス制御 (6)
	PR.AT	意識向上と研修 (2)
	PR.DS	データセキュリティ (4)
	PR.PS	プラットフォームセキュリティ (6)
検知 DETECT (DE)	サイバーセキュリティの潜在的な攻撃と侵害が検出され、分析されている	
	DE.CM	継続的監視 (5)
	DE.AE	有害イベント分析 (6)
対応 RESPOND (RS)	検出されたサイバーセキュリティインシデントに関する措置が講じられている	
	RS.MA	インシデント管理 (5)
	RS.AN	インシデント分析 (4)
	RS.CO	インシデント対応の報告と周知 (2)
復旧 RECOVER (RC)	サイバーセキュリティインシデントの影響を受けた資産と運用が復旧されている	
	RC.RP	インシデント復旧計画の実行 (6)
	RC.CO	インシデント復旧の周知 (2)

BBSec は 2000 年の創業以来、「便利で安全なネットワーク社会を創造する」をビジョンとし、「お客様の情報資産を守り成長を支援する」「高度な専門知識とサービスをわかりやすく提供する」を企業価値として活動してまいりました。

BBSec は、「技術的な成長が指数関数的に続く中で、人工知能が人間の知能を大幅に凌駕する時点」であるシンギュラリティについて、本格的な転換の到来（プレシンギュラリティ）を 2030 年と予測し、来るべき転換点に向けて Vision2030 を定めております。便利で安全なネットワーク社会を創造するために、BBSec ができることの 하나가、高度な専門知識でいち早くお客様のニーズにあったサービスをご提供することです。NIST CSF2.0 は世界中のあらゆる企業に必要なエッセンスを凝縮したものです。高度にグローバル化した社会では自社のセキュリティのみを考えていけばよいというものではありません。そこには当然、高度な専門知識によるアドバイザリも必要になってきます。

BBSec が提供する各種セキュリティサービスは、NIST CSF2.0 のガイドラインに基づいて、企業のセキュリティ体制を強化し、最新のサイバー脅威に対抗するための最善の対策を提供します。貴社の情報資産を守り、信頼できるビジネス環境を築き上げるためにも是非ご活用ください。

サービスに関する詳細情報やご相談は、弊社ウェブサイトをご覧ください。お問い合わせフォームからお気軽にご連絡ください。

サービス紹介 URL :

https://www.bbsec.co.jp/service/evaluation_consulting/riskassessment_lineup.html

【関連ウェビナー】

BBSec 主催「NIST サイバーセキュリティフレームワーク (CSF)」最新 v2.0 概要ウェビナー
～なぜ NIST CSF2.0 が注目されているのか～

開催日時：2024 年 7 月 18 日（木） 14:00～15:00

開催場所・費用：オンライン・無料

申込 URL：https://cr.bbsec.co.jp/nist-csf2_07182024

【BBSec について】

BBSec は、2000 年創業のトータルセキュリティ・サービスプロバイダーです。現状の可視化や診断から事故発生時の対応、24 時間/365 日体制での運用まで、フルラインアップのサービスを提供しています。高い技術力と豊富な経験、幅広い情報収集力を生かし、「サプライチェーンを狙った攻撃」「社会インフラを狙った攻撃」「AI 時代のセキュリティ」を解決すべき社会課題ととらえ、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会を創造する」というビジョンを実現します。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 経営企画部

TEL：03-5338-7430 E-mail：press@bbsec.co.jp

【本サービスに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 営業本部

TEL : 03-5338-7425 E-mail : sales@bbsec.co.jp